

ACANTHUS



「地域学」の一環として歩き遍路で地域文化を学ぶ学生たち（17番礼所 井戸寺）

特集

第1回 地域学「遍路ウォーク」 新入生宿泊セミナー

Index

学長挨拶	2	Club & Circle クラブ・サークル	14
就職概況と2014(平成26)年度の見通し	3	事務組織の名称変更等について	16
2014(平成26)年度 入学式	4	2014(平成26)年度 保護者会・後援会役員会	16
【特集】第1回 地域学「遍路ウォーク」	4	2013(平成25)年度 決算状況	17
【特集】新入生宿泊セミナー	5	在学生保護者のためのキャンパス見学会のお知らせ	17
Close-up campus クローズアップキャンパス	6	2014(平成26)年度 新任教職員プロフィール	18
【連載】研究室への誘い 心理学科	12	TOPICS お知らせ	19





“必要”とされる大学としての教育改革



学長 桐野 豊

本学では、毎年地域の皆さまにも聴講していただける公開講座を実施しています。今年も科学技術、ビジネス、文化などに関する講座を、5月から7月まで徳島・香川両キャンパスで計6回行いました。講演後の懇談の中で、北海道大学客員教授で旭山動物園前園長の小菅正夫先生から「長く存在し続けているものは、“必要”であるから存在している。動物園は、紀元前のエジプトや中国で誕生して以来ずっと続いている」とお話をいただきました。このお話を大学に置き換えると、大学は1119（元永2）年のイタリア・ポロー

ニャで設立されて以来、約900年存続し続けています。本学の母体である村崎学園も1895（明治28）年の設立で、来年120周年を迎える歴史ある大学であります。「女性の自立」を説いた学祖村崎サイにより設立され、私立裁縫専修学校からスタートした本学は、「自立協同」の建学精神のもと120年の時代を経て、9学部26学科を有する総合大学へと発展を遂げました。

さて、日本の大学は明治期の設置以来、時代にあわせた改革を行いながら発展してきました。2012（平成24）年に文部科学省から出された「大学改革実行プラン」では、大学改革の方向性の一つとして「激しく変化する社会における大学の機能の再構築」が示されています。具体的には、大学教育の質的転換と入試改革、グローバル化に対応した人材育成、地域再生の核となる大学づくり、研究力強化を推進するものであります。

本学でも教育の質を高めるための改革を行ってきました。例えば、授業の学習計画などを詳細に記したシラバスをより具体的に分かりやすいように改訂したり、学生の学修時間の実態や学修行動の把握を組織的に行ったり、全授業科目を体系的・有機的連携を持た

せ履修系統図（カリキュラムツリー）に落とし込んだりと学生のより良い学修を助けるための取り組みを行ってきました。

さらに、教員の教育力向上を図る取り組みとして、FD（ファカルティデベロップメント）委員会を組織しています。この他にも、大学入学後に起きるつまずきをなくすための取り組みやオフィスアワー、チューター制度、学び直しのe-ラーニングシステムなど高校と大学の学びを接続するための方策にも注力してきました。こうした教育の質的転換の取り組みは、就職率という形で徐々に表れてきています。今春の卒業生の就職率は、昨年よりも2ポイント高い97.5%でありました。就職支援やキャリア教育とともに教育改革がうまくいっていることの成果ではないかと喜んでいるところです。しかし、まだ100%にはおよびませんので、学生一人ひとりの自己実現を今後もサポートしていきたいと思えます。

来年、120周年を迎える本学が、この先10年・20年、もう100年とさらに歴史を刻めるように、学生や卒業生、地域の皆さまから“必要”とされるよう、建学精神「自立協同」のもと、教育改革をさらに進めていく所存です。

就職支援部

2013（平成25）年度卒業生の就職概況と2014（平成26）年度の見通し 就職支援のための新システムを導入

2013（平成25）年度の本学卒業生の就職率は、大学が97.4%、短大が98.4%となりました。全体では97.5%となり、過去10年で最高値であった前年度を2ポイント上回る結果となりました。公務員の合格者は82名にのぼりました。また、過年度生を含めて、85名が公立学校の正規教諭に採用されています。

就職率は、厚生労働省・文部科学省共同調査（2014（平成26）年4月1日（火）現在の状況）に基づいて算出したものですが、同調査では、全国の大学の就職率は94.4%、短大が94.2%でした。また、地域別では中国・四国地区が92.8%であったことから、本学の状況は、同調査と比べても高い水準にあるといえます。

本年度の就職状況ですが、リクルートワークスの調査によると、2014（平成26）年度卒業予定の学生への求人倍率は、前年の1.28倍から1.61倍と大きく改善され、特に中小企業においては4.52倍となっています。景気回復による人手不足感を背景に、ここ近

年がない状況となりそうです。しかし、内容をよく分析してみると、企業規模や業種間によって格差が生じており注意が必要です。

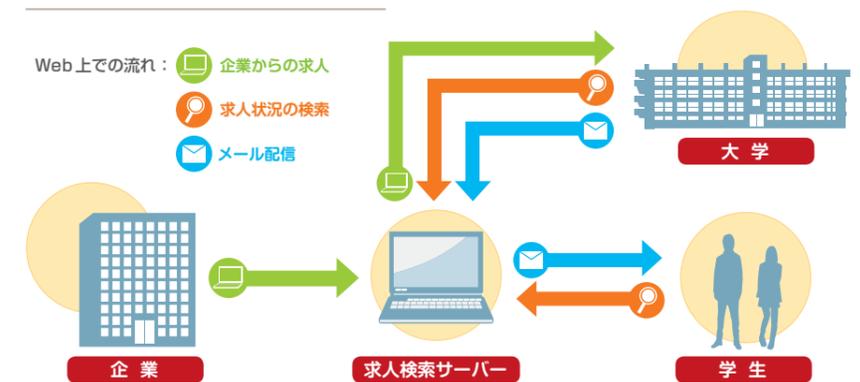
求人状況は確実に改善されてきていますが、企業の厳選採用の傾向は継続し、厳しい状況が続くことには変わりはありません。また、2015（平成27）年度卒業の皆さまから、経済団体連合会の倫理憲章により、企業の広報活動（求人活動の）開始時期が3月からと、3

カ月間後ろ倒しとなりました。学生の皆さんにとっては、就職活動の期間が短縮されることとなりますので、準備不足とならないように、しっかりとスケジュール管理をするなかで対応していくことが望めます。そして、例年のことですが、どうしても受験先が有名な企業に集中しがちとなります。知名度が低くても優良な企業が数多くあります。このことも念頭に置いて就職活動に臨んでいただきたいと思います。

■ 新就職支援システムを導入

- ◇本学では、2014（平成26）年度に就職支援のための新しいシステムを導入しました。このことで、学生の皆さんに求人情報を公開できるまでの時間が大幅に短縮されました。
- ◇新システムは、全国の約120の大学が共同参加して、企業からの求人をインターネット上で受け付けるシステムで、求人受付や情報検索が迅速にできるようになります。
- ◇このシステムには約37,000におよぶ企業が参加していることから、本学にも多くの新規求人をいただいております。従来どおりの方法でいただいた求人情報も、このシステムに登録し提供されることになります。
- ◇すでに導入されている、学生の学びを支援する電子版の「学習ポートフォリオ」と併用して活用することで、大きな効果を上げることが期待できます。

■ 新就職支援システムの概略



就職ガイダンス



就職セミナー



合同企業説明会（本学主催）



就活バス（大阪の合同企業説明会に参加）

地域文化を学ぶ

徳島キャンパス 第1回 地域学「遍路ウォーク」

新入生に大学や地域について学んでもらう全15回の「文理学」の一環として、本年度から新たに「地域学」を設けました。

第1回の地域学では、県内の四国八十八カ所霊場で遍路ウォークを実施しました。6月5日(休)当日は小雨が降る中、徳島キャンパスの学生が班ごとに分かれて、1番札所(霊山寺)、7番札所(十楽寺)、17番札所(井戸寺)などから出発し、遍路道を歩きました。実際に遍路道を歩くことで、地域のことを「みて、きいて、かんじる」ことができるとともに、今まで知らなかった街の姿や地理が把握でき、さまざまな課題点にも気づくことができます。今後は今回の体験を通して、地域に関心を持ち、地域の課題解決力や愛着心などが育まれていくことを期待しています。

なお、香川キャンパスも6月5日(休)に86番札所(志度寺)、87番札所(長尾寺)、88番札所(大窪寺)への遍路ウォークを予定していましたが、悪天候のため、今回は学生の安全を考慮して実施を見送りました。



17番札所 井戸寺(短期大学部)



18番札所 恩山寺(保健福祉学部)



徳島キャンパス 入学式



香川キャンパス 入学式

徳島
キャンパス

香川
キャンパス

2014(平成26)年度 入学式 希望を胸に新入生 1,306人

2014(平成26)年度入学式が4月2日(休)徳島キャンパスで、4月3日(休)香川キャンパスで厳粛に挙行され、新生活をスタートさせました。

はじめに、桐野学長が入学許可を宣言し、式辞では、「知的好奇心を持ってエンジョイし、友とも親しく交わってほしい」と激励しました。新入生を代表して、徳島キャンパスでは人間生活学部の伊藤麻衣さんが、香川キャンパスでは理工学部の大西浩平さんが「21世紀の社会で期待され活躍できる能力を培うことを誓います」と決意を述べました。式典終了後には、音楽学部・短期大学部音楽科による演奏も行われ、歓迎ムードに包まれました。

新入生は徳島キャンパス・香川キャンパス合わせて1,306人。(内訳)大学院・専門職大学院28人、専攻科15人、2年・3年・4年次編入学44人、大学学部1,103人、短期大学部116人

新入生宿泊セミナー

これから充実した学生生活を送れるように、さまざまな交流活動を通して、学生同士・教職員との親睦を深めました。

徳島
キャンパス

新しい学科の仲間と過ごす 1泊2日宿泊セミナー

本学では、毎年4月に対象の学部学科による、1泊2日の新入生宿泊セミナーを実施しています。2014(平成26)年度徳島キャンパスでは、人間生活学部、保健福祉学部(看護学科・理学療法学科)、音楽学部、短期大学部がそれぞれの学部独自の宿泊セミナーを実施しました。今回は、人間生活学部の新入生宿泊セミナーについてご紹介します。

人間生活学部は、4月26日(土)から27日(日)にかけて1泊2日の日程で、国立淡路青少年交流の家で新入生宿泊セミナーを行いました。このセミナーは、自然に恵まれた環境の中で寝食をともにすることにより、学生同士・教職員との親睦を深め、充実した大学生活を送ることを目的としています。実際に、ディスクゴルフや吹上浜での砂の造形、貼り絵タイル作成など、各種の交流活動を通じてお互いの親睦と交流を深めました。なお、ディスクゴルフと砂の造形では、学科にとらわれない班分けを行い、他学科の新入生、上級生とも交流できました。学生たちは次第にうち解け、いきいきとした表情で活動に取り組み、非常に有意義なセミナーになりました。



先輩学生の説明を真剣に聞く新入生



吹上浜での砂の造形



打ち込みうどん作り(短期大学部)



オリエンテーション(理学療法学科)



瀬戸内海でのカッター訓練

香川
キャンパス

瀬戸内海で楽しむ1泊2日宿泊セミナー

香川キャンパスでは、4月5日(土)から4日間、前半(香川薬学部・理工学部)と後半(文学部・保健福祉学部)の2つのグループに分かれて、瀬戸内海国立公園のすばらしい景観が望める「屋島少年自然の家」で、新入生宿泊セミナーが行われました。

初日は雨がばらついたものの、野外炊飯では満開の桜の下、出来上がったカレーに舌鼓を打ちました。カッター訓練では、心一つにしてオールを漕ぎ、小島が点在する瀬戸内海ならではの自然美を堪能しました。体育館ではソフトバレーボールをして汗を流し、団結を強めることができました。

各学部・学科別研修では、多くの先生方と上級生が応援に駆けつけ、和やかな雰囲気の中にも真剣味あふれるセミナーとなり、新入生にとってはこれからの授業や研究について理解を深めるだけでなく、大学生としての決意を新たにすよい機会ともなりました。

研修後のアンケート結果では、参加者の93%が、「友人づくりができてとても良かった。来年度も実施すべきである」と回答しています。

120周年
記念事業

120周年記念事業 新2号館建設の起工式を挙



新2号館 完成図

2014(平成26)年5月14日(水)、村崎学園創立120周年記念事業の一環として、新2号館建設の起工式が挙行されました。教育施設研究所、(株)西松建設、(株)四電工、本学園理事者・教職員参列のもと、工事が安全に滞りなく遂行されることを祈念しました。新2号館はアカンサスホール、地域連携センター、保健センターを備え、本学学生のよりよい学生生活に寄与するべく建設されます。収容人員450席のアカンサスホールでは、各種演奏会や学会等多目的な使用が可能です。また、地域連携センターでは、地域と大学のつながりを第一に、本学教員による公開講座、セミナー等の開催を計画しております。

新2号館は2015(平成27)年3月完成予定です。徳島キャンパス開設当時、旧2号館正面の椰子の木は2mほどでしたが、本学の発展とともに大きく成長を遂げ、今や15m程にもなっています。この椰子の木の成長とともに、学園創立以来120年間支えてくださった卒業生・保護者・地域の皆さまの思いを胸に、さらによりよい教育に向けて努力精進してまいります。



起工式の様子

理工
学部

溶接学会よりフェローを受賞 理工学部機械創造工学科 教授 吉田憲一



吉田憲一教授

2014(平成26)年4月23日(水)一般社団法人溶接学会総会において、2014(平成26)年度のフェローの称号を受賞しました。この賞は、溶接・接合に関する学術・技術の分野で特に顕著な貢献をなし、現在も溶接学会四国支部長として活動中の正会員であることが評価されました。

私はこれまで、材料内部の微細な欠陥の発生や変形によって解放されるエネルギーを弾性波としてとらえる超音波(Acoustic Emission AE)信号を検出・解析することによって、材料評価や破壊予測に役立てる研究を行ってきました。主な研究テーマは「AE法を用いた溶接欠陥度の評価」「AE法によるGeとSiの水素脆化評価」「ガス管からの漏洩中のAEを計測・解析しガス漏洩検出技術の確立を図ること」「Al合金の変形機構の解明およびCu-Al-Ni形状記憶合金のマルテンサイト変態の動的挙動の解明」などがあります。

なお、「フェローの称号を得た会員は、溶接・接合工学の専門家として傑出した技術者たるべきことを自覚し、溶接・接合工学ならびに技術の発展に勝って寄与するとともに、本会の指導的会員として、学会の諸活動への積極的・能動的な参画を通じて本会の目的の達成に率先して努力する責務を負うもの」とされております。この栄誉をもとに本学の教育・研究に邁進していきたいと思っております。

保健福祉
学部

小児看護学実習を徳島文理大学附属幼稚園で実施

保健福祉学部看護学科3年生は、看護学科の実習で最も長く臨地実習を行う学年です。3年生までの知識を活用しながら、成人(慢性・急性)・高齢者・精神・母性・小児看護学実習と約4カ月間の臨地実習を体験することで、学生は主体的に行動し、判断力や応用力、問題解決力を身につけることができます。その臨地実習の一つである小児看護学実習は、病院実習と幼稚園実習を合わせた2週間の実習です。小児看護の対象となる子どもとその家族および子ど

もたちを取り巻く人々を多角的・総合的に理解してほしいと考えています。

今年は幼稚園実習を徳島文理大学附属幼稚園で行いました。実習の目標は、①幼児の日常生活や行動を観察・考察し、成長発達段階の特徴を理解すること。②教育方針に沿って、健康な幼児の生活・保育の援助を実践することです。園長・副園長先生にオリエンテーションから丁寧なご指導をいただき、学生も貴重な経験ができました。



幼稚園での実習の様子

◆小児看護学実習に参加した学生の感想

看護学科3年 河路莉慧(徳島県立富岡西高校出身)
子どもは、日々生活をしていく中で成長・発達し続ける存在です。それは、健康な子どもに限らず、病気を抱えている子どもにもいえます。今回、実習を通して、子どもが持っている力を最大限に活用し、援助していく必要があることを学びました。実習を行った3歳児のクラスでは、上手に自分の言葉で意志を伝えることができるようになり、お箸を使い一人で食事をすることができ、着替えはボタンの掛け違いや前後が逆になっていることがありましたが、ほぼ生活行動は自立していました。実習するにあたって、できないことをしてあげるのではなく、やり方を説明して誘導することが大事だと感じました。病院での看護においても同様のことがいえます。入院中の子どもに対して、すべて身の回りのことを行うのではなく、自分でできることは自分でしてもらうことで、早期回復にもつながると感じました。

看護学科3年 飛田綾音(高知県立高知学芸高校出身)
小児看護学実習を行い、幅広い年齢の子どもと関わることができました。実習に行って感じたことは、関われば関わるほど、その子なりの思いを返してくれるということです。子どもたちは、子どもなりに大人や私たちの行動・様子を観察していると思います。だからこそ、きちんと目を見て話し、行動を見守ることが大切だと思いました。私が病院実習で担当した子どもは、実習を行うにつれて子どものほうから私を探しに話所へ来てくれるようになりました。そして、「遊ぼう」と呼びに来てくれたりもしました。それがとても嬉しかったです。幼稚園実習では、手洗いの指導をさせてもらいましたが、子どもたちに教える時に、私自身も同じことをしながら説明すると子どもたちも一緒に行ってくれました。興味を引くように、分かりやすく説明することが大切なのだと実感することができました。

香川
薬学部

さらなる飛躍へ 香川薬学部開設10周年

香川薬学部は本年で開設満10周年を迎えました。これを記念して6月7日(土)に式典・講演会・祝賀会が開催され、卒業生や在校生、教員、地域の薬剤師約435人が出席しました。

式典では、桐野豊学長が香川県薬剤師会や香川県病院薬剤師会など関係者の支援に感謝の意を表明し、宮澤宏学部長は地域に貢献できる人材をさらに輩出できるよう今後の決意を語りました。来賓として香川県薬剤師会の辻上蔵会長および香川県病院薬剤師会の芳地一會長からご祝辞をいただき、ともに香川県内での香川薬学部の存在意義を強調されました。講演会では、卒業生である岡崎雅史氏(高知大学医学部附属病院薬剤部)、鎌田瑞菜氏(香川県立中央病院薬剤部)、日丸富紗子氏(岩瀬

コスファ研究開発部)、井内将人氏(アインズオレンジ薬局)、相澤菜実氏(ヤンセンファーマ四国支店)、細井貴之氏(香川県西讃保健福祉事務所)の6氏から貴重な体験談や、在校生への力強いメッセージをいただきました。

祝賀会では、初代学部長宇井理生先生が乾杯の音頭を取り、歴代学部長もそろい、和やかな雰囲気の中で交流しました。



開設10周年記念式典・講演会

文学部

古文書が語る島の歴史 一小豆島古文書調査一

2013(平成25)年より学園創立者・村崎サイの故郷である小豆島に所在する古文書調査を、5年計画で実施することとなりました。文学部文化財学科の教員と学生が中心となり、愛媛大学と県内有識者を加えた体制で取り組んでいます。古文書は島の歴史を解明する貴重な歴史資料であるだけでなく、貴重な文化財でもあります。昨年は3回にわたって古文書調査を行いました。そこからはいろいろなことが見えてきました。県内では数少ない慶長検地帳をはじめ、村政に関わるものや石材・塩浜・山論関係文書・絵図など多岐にわたります。

古文書は島の歴史を私たちに語りかけてくれます。先人たちが大切に伝えてきた島に残された歴史的文化遺産を、後世に伝えていくことが私たちの使命といえます。この古文書調査で学んだことを、日常の学習にもいかしていきたいと考えています。



古文書調査を行う教員と学生

人間生活
学部

人間生活学科 生活文化学 「もっと知りたい徳島No.1」

人間生活学部人間生活学科は、人と生活について科学的かつ専門的に学び、知識や技能を身につけるとともに、将来を見据えた多方面の資格取得や生きる力を伝えられる家庭科教諭や心と体をケアできる養護教諭などの教員免許取得をめざしています。

生活文化学は、人間生活学科独自の科目として1年生を対象に開講しており、5月28日(休)学外研修を行いました。日本有数の「河野メリクロン」では、高貴な蘭花の数々を見学し、社長さんの示唆に富んだ人生論を拝聴しました。また、藍と桑で栄えた脇町、うだつの町並みやオデオン座では過去の栄華に現在を重ねた不思議な魅力を感じ、阿波和紙伝統産業会館において高品質の手すき和紙にも挑戦しました。徳島の文化・芸術に触れ、徳島No.1を知る1日となりました。



手すき和紙に挑戦

国際
交流

第44回ホノルル市長杯争奪 全日本青少年英語弁論大会

薬学部薬学科6年籙婉毓(ショウワンイク)さんが、ECC外語学院等が主催する第44回ホノルル市長杯争奪全日本青少年英語弁論大会に出場しました。250人を超える予選を通過し、2014(平成26)年6月22日(日)にグランフロント大阪で開催された本選に全国で8人、中国・四国・九州地区から選出された2人のうちの1人として参加しました。

本年度のテーマは「相互理解を深めるために」という留学生に極めてふさわしいテーマで行われ、全般に高いレベルの弁論大会で、論旨・発音・プレゼンテーション技量等の厳しい審査が行われました。残念ながら入選は逃したものの、堂々とした本学の学生として誇らしい弁論で、会場一杯の聴衆を魅了しました。

図書館

図書館利用者講習会 「インターネット情報活用術」

徳島キャンパスの図書館では3月に新設した「ラーニングcommons」ミニ・セミナールームにおいて、図書館利用者講習会を開催しました。

各種データベース等の情報検索の基礎知識を習得できるよう「インターネット情報活用術」と題し、学生・教職員対象に2回、大学院生対象に2回、5～6月に計4回開催しました。多くのインターネット情報の中から、有益な学術情報をどのようにして探し出すのか、情報検索の基礎、情報セキュリティ、各種データベースの特徴などを60分間で講習しました。参加者は少数でしたが、参考になったとの感想をいただきました。

後期にも医学情報検索基礎編、応用編の講習会を開催する予定です。また皆さまのご希望があれば随時開催しますので、図書館へお申し付けください。

卒業生の
活躍

第63回読売教育賞 外国語教育部門最優秀賞 受賞

福田 恵氏

7月11日(金)、高円宮妃久子さまご臨席のもと読売新聞東京本社で、学校や地域での優れた教育実践を顕彰する「第63回読売教育賞」の表彰式が行われ、私は外国語教育部門最優秀賞として表彰していただきました。我が国最高の教育賞という評価を受けているこの賞を受賞できたことに、大きな喜びと教師になってから出会ってきたすべての生徒の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

学生時代の私は目的もなく、適当な生き方をしてなんとなく教師になりました。教師の仕事はまったく想像していたものとは違い、大変なことや嫌なこともありましたが、生徒にはこちらが一生懸命に彼らを理解すること、本音で話し合い心を尽くしていくことで深い信頼関係

をつくることができました。「生きること」や「自分の夢」を一緒に生徒と探し、英語の授業で生徒が自信を積み重ねどんどん伸びていく姿は、私の生きるエネルギーとなっています。私にとって、教師という仕事は生徒とともに一生懸命に楽しみながら生きることができる天職なのだと思います。学生のころは自分からず、不安や悩みもたくさんありました。今も悩みや迷いはありますが、社会人になってから生きることが楽しくなりました。社会に出てから伸びることも大切なことです。自分を知り、一生懸命になれるものを探してください。若いころに叱られたり、恥をかくことを恐れないで、それを自分の力に変えましょう。人は一生学び続けてこそ、充実した人生が



福田 恵氏 プロフィール

徳島文理大学文学部英米文学科1988(昭和63)年卒業。大学卒業後、徳島県英語教員として勤務。現在は美馬市立江原中学校に在籍。全国英語教育学会員、四国英語教育学会員、全国授業研究会会員。講演実践発表・研究論文多数、論文入賞多数、第63回読売教育賞外国語教育部門最優秀賞受賞。

生きられるのだと思います。私も皆さんと一緒にいつまでも向学心と遊び心を持って学び続けたいと思っています。

音楽学部
音楽科

音楽学部・短大音楽科 充実した環境で感性とテクニックを磨く

マイケル・ローバッカー博士による 音楽療法集中講義

5月24日(土)～30日(金)の1週間にわたり、音楽学部音楽学科音楽療法コースの学生を対象に、本学名誉博士のマイケル・ローバッカー博士による集中講義が開講されました。

今回のテーマは、クライアント(音楽療法を受ける人)のアセスメント方法とその結果からどのように治療計画を立てるか、というものです。音楽療法を実践するうえで非常に重要なテーマとあって、在学生はもちろん沖縄や近畿圏の卒業生も大勢かけつけ、博士と受講生による白熱した講義が展開されました。この集中講義は年2回開講されており、アメリカ音楽療法協会(AMTA)の要職を歴任しているローバッカー博士から、最新の音楽療法を学べる絶好の機会となっています。このような学びの結果、本学の音楽療法士の就職は大変好調で、多くの求人が寄せられています。さあ、みなさんも一緒に音楽療法を勉強しませんか?



ローバッカー博士を囲んで記念撮影

iPhone アプリの音楽に採用 電子楽器コース3年生・木本葉月さん

電子楽器コースでDTM(デスクトップミュージック)による音楽制作を学んでいる、木本葉月さん。木本さんが最も得意とする曲は、「癒やし系」。そんな木本さんの作品が、iPhone 動画編集アプリ『Film story』の音楽として採用されました。このアプリは、日本だけでなく海外でも販売されるため、『光』という作品のタイトルを、英語表記の『hikari』に変更しました。

木本さんは、短期大学部音楽科ニューサウンドコースで、DTMによる音楽制作を学び、さらに勉強を重ねるため、音楽学部音楽学科電子楽器コースに編入学しました。電子楽器コースに編入学してからも、毎日パソコンを使ってDTMによる音楽制作に励んでいます。

今後も木本さんにしかつくることのできないすばらしい作品が期待されます。



作品づくりに取り組む木本さん

卒業生の
活躍

音楽学部 音楽学科 声楽コース卒業生の坂東宏美さん、世界初演の新作オペラに出演

音楽学部音楽学科声楽コース卒業生の坂東宏美さんが、5月14日(休)サンポートホール高松・大ホールで、世界初演の新作オペラ「扇的」に出演しました。

これは、香川に残る史実、屋島壇ノ浦での平家と源氏の戦いをオペラ化したものです。ヒロイン「葵」に仕える若き忠実な侍女「志乃」として、開幕から終幕まで出演し続けました。葵との丁々発止の場は、聴衆の胸に強く迫る熱い感動を与えました。

大ホールにもよく響く立派な声の持ち主である坂東さんは、本学と長年の姉妹校であるウィーン国立音楽大学にも留学し、研鑽を積みました。今後、さらなる高みをめざしての飛躍が期待されています。



二期会オペラ「ファルスタッフ」より(左から3番目が坂東さん)

地域
連携

社会・地域連携の取り組み

スポーツの振興および 地域貢献に関する連携協定

サッカーJ1の徳島ヴォルティスと徳島文理大学、徳島文理大学短期大学部、徳島文理小学校、徳島文理中学校・高等学校、徳島文理大学附属幼稚園はスポーツの振興や地域社会の活性化を目的とした連携協定を締結しました。4月7日(月)に徳島県庁で行われた記者会見には本学の村崎正人理事長、徳島ヴォルティスの新田広一郎社長が出席、協定書に調印しました。

本学は今年2月に徳島県と地域貢献に関する包括連携協定を締結しており、今後、スポーツ振興の面でも力を入れるため、J1昇格で県民から熱い視線を集めている徳島ヴォルティスとの連携協定に至りました。具体的には、本学に今年度新しく創部された女子サッカー部の強化に協力してもらうほか、附属幼稚園や小学校・中高に出向いての体力向上をめざした指導に関わってもらうことなどを想定しています。地域貢献では、ヴォルティスのホームゲームの運営に協力することやインターン



シップに参加することなどが予定されています。

本学は、サッカーJ2のカマタマーレ讃岐のオフィシャルサポーターも務めており、スポーツの振興および地域に貢献できるさまざまな取り組みを進めてまいります。

薬学部

地域薬剤師の資質向上のための 「フィジカルアセスメント講習会」

薬学部は卒後教育および地域貢献活動の一環として、現役薬剤師を対象とした「フィジカルアセスメント講習会」を徳島県で2回、高知県で1回開催しました。

高齢者の増加で在宅医療への需要が年々高まっており、中でも薬剤師には薬の副作用を早期に発見することや、患者が正確に薬を服用しているか否かを把握するため、血圧や心音を調べて患者の状態を確認する「フィジカルアセスメント」の技術を習得することが求められています。この講習会では、人型のシミュレーターを用いて、心音や呼吸音の聞き取り方、血圧の測定法などの研修を行いました。

この3回の研修会は、100人余りの現役薬剤師が受講しました。今後、研修内容をレベルアップして、徳島県・高知県を中心に講習会を継続していく予定です。



人型シミュレーターを用いた研修

薬学部

地域薬局と連携協定を締結 地域医療に貢献する薬剤師を養成

今後ますます重要となる高齢者支援・緩和ケアサポートと同時に、患者に限らず住民の健康・未病をサポートできる在宅医療を担う薬剤師の養成を目的として、2014(平成26)年6月に徳島県の(株)グローバルアシスト、高知県の(株)Yell Pharmacy、四国調剤グループと連携協定を締結しました。

県をまたいだ広域で大学が介護事業等を併設した薬局と連携し、学生教育と在宅医療教育、現場の薬剤師の生涯指導力向上教育を行うことにより、学生教育が薬学部で完結するものでなく、連携施設においても教育・実習を行えるようになります。また学生の教育・実習だけでなく、現役の薬剤師にも在宅医療で中心となる指導的薬剤師の養成および今後薬剤師が担うであろう健康寿命延伸事業に対応できる能力の育成にも役立ちます。



地域薬局との連携に関する協定書

人間生活
学部

メディアデザイン学科 社会へのアプローチ

剣山国定公園 50周年記念フォーラム オープニングムービーの制作

1964(昭和39)年3月3日に「剣山国定公園」が指定され、今年で50周年を迎えました。これを記念し、2014(平成26)年3月3日(月)美馬市で「剣山国定公園50周年記念フォーラム」が開催されました。このフォーラムの中で、メディアデザイン学科4年生の篠原美玖さんが、卒業研究の一環として作成したデジタルアーカイブ映像が上映されました。

この作品は、関係各位より提供を受けた写真や映像をもとに、剣山の歴史や自然を紹介する、約5分間の作品です。昨夏夏に、徳島県西部総合県民局よりメディアデザイン学科の篠原研究室に制作依頼があり、研究室に配属となった篠原さんが、研究と地域貢献を兼ねて制作を担当しました。



剣山国定公園 50周年記念フォーラム オープニングムービーのワンシーン

映像は徳島文理大学TV(youtube)にアップロードしておりますのでぜひご覧ください。【URL: <http://youtu.be/ACzMoz0NvyM>】

子どもたちに伝える 防災減災啓発教材の開発

徳島県では近い将来発生するといわれている南海トラフ大地震で、大きな被害が想定される徳島県南部の実態に即した津波対策を行っております。今回、その一環として、メディアデザイン学科の篠原美玖さん(4年)と古請万由子さん(3年)の2人が、津波からの避難を子どもに分かりやすく伝える紙芝居をつくりました。

紙芝居は男の子(つとむくん)が起震車の体験をしたとき、すだちくんから津波避難のアドバイスを受けます。そして、実際に地震が起こりアドバイスを思い出しながら津波から逃げ延びるという物語です。

この作品は、徳島県南部津波減災対策委員を努めるメディアデザイン学科の篠原靖典教授が、徳島県から依頼を受け、2人の学生が約2か月をかけて完成させました。

また、6月5日(木)には、美波町の保育園と幼稚園で行われた津波避難訓練でこの紙芝居が上演されました。



防災紙芝居製作者の古請さん(左)と篠原さん(右)

地域の中で学ぶ 「地域がキャンパス」推進事業

本学では、徳島県南部圏域の活性化に向けた新たなきっかけづくりとして、美波町を大学のキャンパスに見立てて講座を実施する「地域がキャンパス」推進事業を実施しています。

メディアデザイン学科では、由岐地区と日和佐地区の2班に分かれて、町の見どころを撮影しました。由岐漁港では、町商工会女性部と特産のアワビやサザエ、アオリイカのさばき方のほか、刺身や網焼き、丼物など、おいしく味わう調理法も収録しました。日和佐川では上流・中流・下流の3カ所でビデオカメラを回し、カヤックや川遊び、テナガエビ捕りの様子を収めました。

撮影した映像は1本2分程度に編集し、約10本のプロモーションビデオを作成しました。プロモーションビデオは、美波町の道の駅、観光スポットでの紹介などで活用されており、地域を元気にするきっかけとして期待されています。今年度は、美波町木岐地区の町おこしのため、地元の調査研究を引き続き行う予定です。



由岐漁港で撮影に挑むメディアデザイン学科の学生



人間生活学部 心理学科 人間生活学研究科 心理学専攻

【連載】研究室への誘い

- 人間生活学部心理学科 教授 黒澤 良輔
- 人間生活学研究科心理学専攻
尾古 百合恵・西 功貴・井上 真理子・向山 結唯

●黒澤教授にお聞きします。心理学科の学びのポイントを教えてください。

心理学は「こころを科学する」学問です。人間の活動・社会生活のすべての背景にある「こころ」の諸現象を、実験・観察・心理テスト等によって収集されたデータの解析をもとに「科学的に研究」します。非常に幅広い心理学の中でも、特に本学では「臨床心理学」を中心に勉強しています。人の悩みや苦しみ、あるいは喜びや幸せ、また人はどのように成長し子どもから大人になり、そして老いや死を迎えていくのか、そうした人々の「こころ」をどのように理解し支援していくことができるのかを学びます。具体的な進路としては、養護教諭、公務員（心理職）、民間企業等ですが、大学院に進

学し、より専門的な資格である「臨床心理士」をめざす学生も多くいます。

●心理学科にはどんな研究室（各研究室の研究テーマなど）がありますか？

本学では、心理学をいかした実社会での実務経験のある教員が多いことが特徴です。病院、児童相談所、学校、法務省矯正施設、国連などでの経験をいかし、心理療法、箱庭療法、描画法、発達障害者支援、いじめや不登校対策、非行・犯罪対策、応用行動分析、動機づけ、環境心理学など、多様なテーマが研究されています。

私の研究室では、「学校から社会への円滑な移行」をめざす「職業キャリア形成支援」、「今、ここ」に注意を向け呼吸

法を用いる「マインドフルネス心理療法」を中心にしていますが、大学院生は「障害を有する同胞を持つ『きょうだい』への支援」「職業不決断」「ターミナルケア」「死生観」「心的外傷後の成長」「犯罪者のプロファイリング」「犯罪予防のための環境」など、心理学に対する現代社会のニーズに応じた多様なテーマで研究しています。

●学生たちの雰囲気はいかがですか？なかでも、このコーナーで取材する学生さんは、どのように学んでいますか？

心理学科には、中学や高校で不登校やいじめ、あるいは悩みを抱えた友だちがいたが、そうした生徒の「こころ」を理

解しサポートしてくれた養護教諭やスクールカウンセラーの先生に出会い、自分もそうした「こころ」の専門職になりたいと考えて進学する生徒がたくさんいます。今回は、より専門的な臨床心理士資格取得をめざして大学院に進学した学生たちを紹介します。就職を希望する分野は医療、司法など多様ですが、いずれの学生も、臨床心理士としての専門性をいかして社会の中で活躍したいと大変意欲的です。まず修士論文の作成、次に臨床心理士試験合格という具体的な目標を持って勉強しており、将来が大変楽しみであると同時に、私自身も刺激を受けています。

●続いて尾古さん、向山さん、井上さんにお聞きします。現在所属している研究室（ゼミ）を選んだきっかけ、理由を教えてください。

尾古：非行問題や青年心理に関心があり、学問として深め、将来に役立てるために非行臨床に詳しい黒澤先生のゼミに決めました。また、「一緒に勉強していこう！」と声をかけてくださった黒澤先生のお人柄も研究室を決めたポイントです。このゼミで黒澤先生が非行臨床の現場で培われた技術や心構えを吸収したいと考えています。

向山：黒澤先生が専門にされているマインドフルネスの「思考から距離を置く」という考え方に興味を持ち、マインドフルネスについて教えていただきたいと思ったからです。また、先生の人柄やゼミ

の雰囲気から惹かれ、黒澤先生の研究室でお世話になりたいと思いました。
井上：ゼミを選ぶきっかけとなったのは、「失敗を恐れず自分の興味・関心のある研究をすること。失敗から学ぶことで多くの気づきを得ることができる」という黒澤先生の力強いアドバイスと、鋭い視点で現場における問題点に着目し、問いかけることの大切さを教えてくださった黒澤先生のもとでお世話になりたいと思いました。

●現在の研究内容を教えてください。

尾古：青年のキャリア形成は、現代の日本において重要な課題であり、青年自身も悩んでいます。そこで、青年のキャリア形成というテーマのもと、ボランティアやアルバイト経験がキャリアの形成にどのように影響をおよぼすのか、また、どのような要因がキャリア形成を困難にするのかという問題について研究しています。将来的には実践につながるような研究にしていきたいと考えています。

向山：私は、マインドフルネスがQOLにおよぼす影響について研究したいと思っています。マインドフルネスは、「今ここでの経験に、評価や判断を加えることなく、能動的に注意を向ける」という一種の心理状態を意味し、これをトレーニングすることで精神的健康が改善されるといわれています。マインドフルネスがどのように精神的健康に作用するのかについて研究する予定です。

井上：私は「心的外傷後成長」「死生観」

について研究を行っています。人は人生のなかで死別や事故、災害などの思いもよらない出来事に出会うことがあります。こうした経験は人を苦しめますが、その苦しみを通してポジティブな変容を遂げることがあります。そうした変容過程に視点を置き、「死別」に関わる危機の捉え方に焦点を絞り、研究を進めていきたいと思っています。

●これからの目標、将来の夢を教えてください。

尾古：非行臨床・青少年の問題について支えになれるような職に就きたいと考えています。非行予防や青少年の自立を大きなテーマとして、青少年のよき相談相手となれるよう努力していきたいです。

向山：将来は、病院で臨床心理士として働き、緩和ケア病棟で患者さんやその家族、看護師に対して心理的援助をしたいと思っています。自分の物差しで物事をはからず、クライアント自身の力を信じて支え、伸ばすような援助ができる臨床心理士になりたいと思っています。

井上：大学院の2年間は今だからできること、今しかできないことがあります。施設見学やボランティアなど、貴重な経験を積み重ね、広い視野を持って勉学に励み、さまざまな状況に対する自己管理、健康管理ができるよう取り組んでいきたいと思っています。また、感性を磨き、将来臨床心理士をめざす者として日々精進していきたいと思っています。



黒澤研究室の皆さん（左から黒澤教授、向山さん、尾古さん、西さん、井上さん）

香川 キャンパス 第36回徳島陸上カーニバル 三段跳び 大会新記録
「未来にホップ、ステップ、ジャンプ」

4月12日(土)に開催された第36回徳島陸上カーニバル三段跳びにおいて、14m93で17年ぶりに大会記録を更新し、優勝することができました。4年生では実習等で競技ができないかもしれないので、今年がラストシーズンのつもりで、悔いの残らないように練習に打ち込んできました。2014(平成26)年の初戦が徳島陸上カーニバルでした。大会記録を意識していたので、記録を更新できてよかったです。その後、この勢いに乗り、5月18日(日)に開催された第68回中国四国学生陸上競技対校選手権大会では、大学ベストの

15m13で優勝することができました。一昨年にも優勝しましたが、昨年は2位でした。今年リベンジを果たし、王座を取り戻すことができ安堵しています。また、先日行われた四国インカレにおいても、三段跳びで2連覇を果たし、全日本インカレ参加の資格を得ることができました。今年は今までで一番いい状態なので、全国大会の大舞台で自分の力を出し切れるよう、練習に励みたいと思います。実習で忙しいのですが、文武両道をめざしてこれからもがんばります。

診療放射線学科3年 榎原 功輝さん



優勝を喜ぶ榎原さん

徳島 キャンパス 自立した選手の育成をめざして
女子サッカー部 新設

本年度より女子サッカー部の活動がスタートしました。まず、構想の段階からここまでの道程を導いてくださいました理事長先生をはじめ、学園本部の先生方、学生部長の鎌田先生、ならびに本学関係者の皆さまには心より感謝申し上げます。

現在の女子サッカー部は、選手が15人、マネージャー2人の17人で活動しています。平日は週2~3回、朝の6時50分から、土曜日は8時から大学グラウンドで練習を行っています。ほぼ全員が初心者です。現在の選手たちの練習風景は“サッカー”ではなく、子どもが集団でボールを夢中で追っているような、いわゆる“ボール遊び”に似ています。今の段階では、それで良いと思っています。遊びは楽しむものです。子どもは、一所懸命に遊ぶことで身体の発達が促進され、思考が豊かになり、創造力が養われます。スポーツも楽しむことが根底になければ、選手としての向上は望みません。幸い、選手たちはサッカーを楽しんでいます。そのため、活動を始めてまだ2カ月



ほどですが、確実にスキルの向上が見られます。また、選手には、活動を通じて常に「自主性」を求めています。何でも指導者に依存するのではなく、必要な練習などを自ら考え、行動できる「自立した選手」の育成をめざしています。これは、本学の建学理念である、「自立協同」の精神を実践することに繋がります。スポーツは結果も大事ですが、結果に至るまでの過程が選手を成長させます。皆さま、今後もご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。(顧問 金子憲一氏)



新ユニフォーム

クラブ・サークル紹介

女子バスケットボール部

女子バスケットボール部は、昨年の全四国大学バスケットボール連盟新人大会で準優勝をし、四国地区大学総合体育大会では優勝しました。全日本大学バスケットボール選手権大会四国地区予選では準優勝に終わり、全日本大学バスケットボール選手権大会の出場を逃しました。この悔しい思いがあり、必ず全国への勝利をつかむべくチーム一丸となり励んでいます。



今年度は、全四国大学バスケットボール連盟新人大会で優勝し、いいスタートがきれました。三冠という目標を達成して全国へ臨む意気込みです。メンバーも25人に増え、全員で勝ちにこだわる事ができ、いいチームワークが整い、四国のなかでもレベルの高いチームになっています。皆さん、がんばるので応援よろしくお願ひいたします。



トレーニング部

トレーニング部は、毎週月曜日から金曜日と第3土曜日に大学の体育館1階で活動しています。活動内容は、筋力トレーニングにより筋力・筋量を向上させ、強く頑強な体を作り上げることを主な目的とし、各部門がそれぞれの理想とする体を実現するために日々努力しています。その他にも体育館にある、NASAのトレーニングマシンとしても採用されている「Cybex(サイベックス)社製VR-3マシン」を利用し、有酸素運動を行う部員もいます。



今年で結成から4年目を迎えますが、我々トレーニング部はパワーリフティングやボディビルの大会に積極的に参加し、今年4月に行われたパワーリフティング四国大会では、香川薬学部5年生の木原 優選手が日本ジュニア新記録を更新するという輝かしい成果をあげました。



クラブ・サークル大会結果

徳島キャンパス

- 卓球部
 - ・第48回春季リーグ四国学生卓球選手権大会/男子団体2部1位
- 女子バスケットボール部
 - ・全四国大学バスケットボール新人大会/優勝
 - ・最優秀選手賞
 - ・人間生活学科2年 上里愛花
 - ・優秀選手賞
 - ・心理学科2年 小原 彩
 - ・第65回四国地区大学総合体育大会/準優勝
- 女子バレーボール部
 - ・徳島県大学バレーボール春季大会兼選手権大会/優勝
 - ・第65回四国地区大学総合体育大会/準優勝
- 男子バレーボール部
 - ・徳島県大学バレーボール春季大会兼選手権大会/優勝
- 準硬式野球部
 - ・四国地区大学準硬式野球春季リーグ戦大会/優勝

- 春季リーグ戦表彰/ベストナイン
 - 理学療法学科3年 伊藤憲生
 - 看護学科4年 大城齊也
- ・文部科学大臣杯第66回全日本大学準硬式野球選手権大会出場決定
- バドミントン部
 - ・徳島県学生バドミントン選手権大会
 - 男子ダブルス第3位
 - 児童学科2年 高岡謙伍
 - 心理学科3年 宮城祐弥
 - 男子シングルス第3位
 - 児童学科2年 高岡謙伍
 - 女子ダブルス準優勝
 - 総合政策学科2年 佐藤理沙
 - 看護学科1年 涌嶋麻樹
 - 女子ダブルス第3位
 - 看護学科1年 屋良夏生
 - 人間生活学科2年 大室幸子
 - 女子シングルス優勝
 - 看護学科1年 屋良夏生
 - 女子シングルス準優勝
 - 看護学科1年 涌嶋麻樹
 - 女子シングルス第3位
 - 総合政策学科2年 佐藤理沙
- 弓道部
 - ・第65回四国地区大学総合体育大会

- 個人男子2位
 - 薬学科1年 大藤 力
- 個人女子3位
 - 児童学科3年 渡邊由真
- 準硬式野球部
 - ・第65回四国地区大学総合体育大会/ベスト4進出
- フットサル部
 - ・第65回四国地区大学総合体育大会/準優勝
- 陸上競技部
 - ・第36回徳島陸上カーニバル/三段跳1位
 - 診療放射線学科3年 榎原功輝
 - ・第85回徳島県陸上競技選手権大会/三段跳1位(4連覇)/走幅跳2位
 - 診療放射線学科3年 榎原功輝
 - ・第68回中国四国学生陸上競技対校選手権大会/三段跳1位/走幅跳5位
 - 診療放射線学科3年 榎原功輝
 - ・第65回四国地区大学総合体育大会三段跳1位/走幅跳2位
 - 診療放射線学科3年 榎原功輝

- 110mハードル/4位
 - ナノ物質工学科4年 品田直毅
- 5000m/8位
 - ナノ物質工学科2年 辻 敦矢
- 砲丸投げ/6位
 - 文化財学科1年 小川 翼
- トレーニング部
 - ・第36回四国パワーリフティング選手権大会/デッドリフト260kg1位
 - 薬学科5年 木原 優
 - ・第84回2014年度香川県春季パワーリフティング選手権大会/ノーギア93kg 総合 第1位
 - 薬学科2年 有澤史也
- 水泳部
 - ・第49回中四国学生水泳選手権大会/50m自由形6位/100m平泳ぎ6位
 - 薬学科6年 細谷沙梨
 - ・第65回四国地区大学総合体育大会/50m平泳ぎ2位/50m自由形3位
 - 薬学科6年 細谷沙梨
- フットサル部
 - ・第65回四国地区大学総合体育大会/ベスト4進出

◆事務組織の名称変更等について

学生・保護者へのサービスの向上及び事務の効率化を図るため、2014（平成26）年4月1日(火)をもって徳島文理大学・徳島文理大学短期大学の事務組織の名称変更及び分掌事務の一部見直しを行いました。

部	グループ	業 務 内 容
総 務 部	庶務・渉外グループ	対外的な応対業務、大学の諸行事・諸会議の運営、福利厚生業務 など
	施設・用度グループ	施設管理業務、物品購入・管理業務 など
	学部事務グループ	学部長・学科長事務の補佐、学部教授会等の運営 など
教 務 部	教務グループ	授業運営・成績管理・身分異動に関する業務、入学試験の実施に関する業務 など
	教育・研究支援グループ	教育・研究高度化推進、カリキュラムの体系的な管理業務、自己・点検評価業務 など
	全学共通教育センター	基礎学力の充実を図る業務、各種採用試験対策に関する業務 など
	メディアセンター	メディアセンターの管理・運営業務 など
学 生 部	学生支援グループ	履修の相談、単位取得相談、大学生生活の相談、証明書発行、奨学金、アルバイト、クラブ・サークルに関する業務 など
	保健センター	健康診断の実施、学生及び教職員の相談（カウンセリング）に関する業務 など
	学生寮	学生寮の管理業務、寮生の生活指導 など
就職支援部		就職の相談、求人開拓、インターンシップ など
入試広報部		広報、学生募集に関する諸業務、入学試験の企画 など
国 際 部	国際交流グループ	外国人応対、姉妹校締結業務、研修・留学に関する業務 など
	語学センター	語学教育・語学資格取得支援に関する業務 など
情報センター		情報ネットワーク・情報処理システムの企画・管理・運営業務 など
附属図書館		図書資料の収集・選定・閲覧・貸出の業務 など

◆2014（平成26）年度 保護者会・後援会役員会

6月16日(月)10時から、徳島キャンパス国際会議室において、「2014（平成26）年度 保護者会・後援会役員会」が役員55人、本学教職員33人が出席し、開催されました。

議事として2013（平成25）年度会計決算報告と承認、監査報告、役員改選、2014（平成26）年度事業計画・予算案等が審議され、いずれも承認されました。役員会終了後は学食体験で、大勢の学生で賑わう学生食堂のフロアで大学教職員も交え、ご歓談いただきました。

13時からは、学園長室で保護者会支部長会が開催され、各支部の支部役員と担当者により、8月から15府県で開催される支部会の日程・会場の確認、支部総会や個別面談など支部運営について協議が行われました。

2014（平成26）年度の役員の方は次のとおりです。ご協力よろしく申し上げます。

◇保護者会	会 長	田村 祥祐 (再任)
	副会長	岡本 晃 (再任)
		本城 学 (新任)
		日切 清 (新任)
監 事	谷口 真紀 (再任)	
	坂野 洋子 (新任)	

◇後 援 会	会 長	中西 文夫 (再任)
	副会長	神田 睦 (再任)
		四宮 肇 (再任)
	監 査	福島 誠浄 (再任)
	神崎 千寿 (再任)	

(敬称略)

◆2013（平成25）年度 決算状況

学校法人村崎学園の2013（平成25）年度決算状況は、表Ⅰ 資金収支計算書、表Ⅱ 消費収支計算書、表Ⅲ 貸借対照表のとおりです。資金収支計算書は、2013（平成25）年度の諸活動に対応するすべての資金の収入と支出を表しています。

消費収支計算書は、企業会計でいえば損益計算書にあたるもので、当会計年度の消費収入および消費支出の内容および均衡の状態を表しています。

消費収入は、帰属収入（負債とならない収入：学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金等の収入をいい、借入金収入、前受金収入等の負債となる収入は含まない）から、基本金組入額を控除したものです。

消費支出は人件費、教育研究経費、管理経費等、学校法人の経常的な支出をいいます。

貸借対照表は、資産の部と負債・基本金の部および消費収支差額の部からなり、当会計年度末の財産の状態を表しています。

いずれも学校法人会計基準に基づき計算および表記しています。

表Ⅰ 資金収支計算書 (単位：百万円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	7,802	人件費支出	4,882
手数料収入	116	教育研究経費支出	2,028
寄付金収入	25	管理経費支出	493
補助金収入	1,549	施設関係支出	602
資産運用収入	388	設備関係支出	490
資産売却収入	117	資産運用支出	1,505
事業収入	202	その他の支出	1,969
雑収入	259		
前受金収入	1,354		
その他の収入	2,132		
資金収入調整勘定	△1,823	資金支出調整勘定	△195
前年度繰越支払資金	8,864	次年度繰越支払資金	9,210
収入の部合計	20,985	支出の部合計	20,985

表Ⅱ 消費収支計算書 (単位：百万円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金	7,802	人件費	4,873
手数料	116	教育研究経費	4,321
寄付金	42	管理経費	669
補助金	1,549	資産処分差額	73
資産運用収入	388		
事業収入	202		
雑収入	238		
帰属収入合計	10,336		
基本金組入額合計	△617		
消費収入の部合計	9,719	消費支出の部合計	9,936
		当年度消費支出超過額	216
		前年度繰越消費支出超過額	6,968
		翌年度繰越消費支出超過額	7,185

表Ⅲ 貸借対照表 (単位：百万円)

科 目	金 額
資 産 の 部	合 計 98,431
固定資産	88,641
流動資産	9,790
負 債 の 部	合 計 3,170
固定負債	1,566
流動負債	1,604
基 本 金 の 部	合 計 102,445
消費収支差額の部	合 計 △7,185
負債の部・基本金の部および消費収支差額の部	合 計 98,431

【注記】

- * 表Ⅰ・表Ⅱ 計算期間 2013（平成25）年4月1日(火)から2014（平成26）年3月31日(月)まで
- * 表Ⅲ 2014（平成26）年3月31日(月)現在
- * 資金収入調整勘定……期末未収入金および前期末前受金を調整
- * 資金支出調整勘定……期末未払金および前期末前払金を調整
- * 基本金……学校法人が諸活動の計画に基づき、必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして帰属収入から組み入れた金額
- * 内訳は百万円未満の端数を四捨五入しているため、合計等が一致しないことがあります。

◆「在学生保護者のためのキャンパス見学会」のお知らせ

オープンキャンパスの開催にあわせ、在学生の保護者の皆さまにもご参加いただける見学会を企画しています。当日の主なプログラムとして、ミニコンサート、学食体験、就職講演会、学科別施設見学などを予定しています。お子さまの学ばれるキャンパスで、本学の教育環境をご覧ください。

当日は徳島・香川・愛媛・高知・岡山・大阪・兵庫方面より無料送迎バスが出ますのでご利用ください。詳細は9月上旬大学ホームページに掲載します。皆さまのご参加をお待ちしています。

徳島キャンパス

9月27日(土)

香川キャンパス

9月28日(日)



昨年度の様子



学園からのお知らせ

徳島文理大学附属幼稚園

◇一般見学説明会 開催

入園を検討されている方、興味のある方向けに説明会を実施いたします。

日時：9月13日(土) 開始9時30分(10時30分終了予定)

場所：徳島文理大学附属幼稚園

また、電話予約でいつでも見学することができます。

下記の電話番号までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

徳島文理大学附属幼稚園 TEL (088) 653-4941

徳島文理小学校

◇見学受付中

徳島文理小学校では、学校見学を随時受け付けております。学校見学ご希望の方は、事前にお電話でご連絡ください。

【お問い合わせ】

徳島文理小学校 TEL (088) 652-5567

(お電話受付時間 平日8時～16時30分 土曜日8時～12時30分)

徳島文理中学校・徳島文理高等学校

◇入試説明会 開催

徳島文理中学校・徳島文理高等学校の入試の要項を説明します。授業体験や入試問題の講習会を実施いたしますので、受験生、小・中学校在学学生、保護者の方、その他ご関心のある方はぜひご参加ください。

日時：9月20日(土) 受付開始・本館校舎自由見学13時～
(16時30分終了予定)

※事前予約不要・駐車スペースあり



コンクール・コンサート日程

第6回徳島音楽コンクール 開催 (応募受付中)

本コンクールは、音楽学習者の能力を育むとともに、徳島県民はもとより県外の皆さんにも広く音楽への関心を高めることを目的としています。グランプリを受賞された方には2015(平成27)年秋に開催されるコンサートで一流オーケストラと共演する機会が与えられますので、ぜひご応募ください。

日程：10月11日(土)・10月12日(日)

会場：徳島文理大学(徳島キャンパス)

応募受付期間：8月20日(水)～9月5日(金)

第6回徳島音楽コンクール入賞記念ガラコンサート

日時：11月8日(土) 午前開演

(開演時間は、出演者数によって決定いたします。詳細については、下記公式ホームページをご覧ください)

会場：むらさきホール(徳島キャンパス)

【HP】<http://wwwt.bunri-u.ac.jp/ongaku/tmc04/>

①出身地 ②最終校 ③博士号 ④前任 ⑤所属等

システム ⑤講師・総合政策学部総合政策学科

まつもと 松本 哲人

①奈良県 ②兵庫県立大学大学院経済学研究科修士後期課程 ③博士(経済学) ④龍谷大学経済学部非常勤講師 ⑤講師・総合政策学部総合政策学科

ももい 桃井 克将

①兵庫県 ②神戸大学大学院人間発達環境学研究科心身発達専攻健康発達論コース博士前期課程 ⑤講師・保健福祉学部人間福祉学科

ランス キタ

①アメリカ ②ハワイ州立大学マノア校大学院 ④松茂町立松茂中学校英語指導助手(ALT) ⑥客員講師・一般総合科目

エードリアン ファルージャ

①マルタ ②マルタ大学修士課程 ④EEC Malta 英語講師 ⑤客員講師・文学部英語英米文化学科

あが 安賀 早紀

①愛媛県 ②徳島文理大学大学院人間生活学研究科心理学専攻 ⑤助手・人間生活学部心理学科

つじ 津地 正恵

①徳島県 ②国立松山病院附属看護学校 ④徳島文理大学保健福祉学部非常勤講師 ⑤助手・保健福祉学部看護学科

かつた 勝田 礼美

①徳島県 ②徳島文理大学人間生活学部食物栄養学科 ⑥実験助手・短期大学部生活科学科

もり 森 誠治

①徳島県 ②徳島県立徳島商業高等学校 ④富田タクシー(株) ⑤技術職員・学園本部総務部

うらもと 浦本 健治

①徳島県 ②徳島県立阿北高等学校 ④徳島バス(株) ⑤技術職員・徳島キャンパス総務部施設・用度グループ

みやた 宮田 佳奈

①徳島県 ②徳島文理大学人間生活学部心理学科 ④ATS 徳島航空サービス(株) ⑥事務職員・入試広報部(徳島キャンパス)

ますもと 増本佐優美

①高知県 ②香川大学経済学部経済学科 ④JA高知春野 ⑤事務職員・徳島キャンパス教務部教務グループ

かわの 河野 里沙

①徳島県 ②関西学院大学総合政策学部国際政策学科 ⑤事務職員・徳島キャンパス総務部庶務・渉外グループ

◆2014(平成26)年度 新任教職員プロフィール

せんた 千田 彰一

①和歌山県 ②大阪大学大学院医学研究科博士課程(内科系専攻) ③博士(医学) ④香川大学副学長 自然生命科学系教授、医学部附属病院長、地域連携室長 ⑤副学長 教授・保健福祉学部診療放射線学科

ば 馬場園陽一

①鹿児島県 ②大阪教育大学大学院修士課程教育学研究科心理学専攻 ④高知大学教育学部教授 ⑥教授・人間生活学部児童学科

いらい 稲井 玲子

①愛媛県 ②愛媛大学大学院連合農学研究科生物資源利用学専攻食糧科学分野 ③博士(農学) ④名古屋経済大学大学院人間生活科学研究科栄養管理専攻主任 ⑤教授・人間生活学部食物栄養学科

あかい 坂井 隆志

①神奈川県 ②京都大学大学院医学研究科博士課程(生理系専攻) ③博士(医学) ④徳島大学疾患酵素学研究センター准教授 ⑤教授・人間生活学部食物栄養学科

よしおか 吉岡 三郎

①高知県 ②岡山大学大学院薬学研究科修士課程 ③博士(医学) ④高知大学医学部附属病院薬剤部副薬剤部長 ⑤教授・薬学部薬学科

いずみ 泉 啓介

①徳島県 ②徳島大学大学院医学研究科博士課程 ③博士(医学) ④徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス部教授 ⑤教授・保健福祉学部看護学科

もりた 森田 敏子

①熊本県 ②佛教大学大学院教育学研究科生涯教育専攻修士課程 ③博士(医学) ④熊本大学大学院生命科学部研究部教授 ⑤教授・保健福祉学部看護学科

たかたに 高谷 嘉枝

①高知県 ②高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程健康生活科学専攻 ③博士(看護学) ④福岡大学医学部看護学科教授 ⑤教授・保健福祉学部看護学科

いん 尹 玉鍾

①韓国 ②梨花女子大学校看護科学大学博士課程 ③博士(看護学) ④国際医療福祉大学大学院(修士課程、博士課程)老年看護学教授 ⑤教授・保健福祉学部看護学科

ふくだ 福田 信夫

①徳島県 ②徳島大学医学部医学科 ③博士(医学) ④国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター臨床研究部長 ⑤教授・保健福祉学部臨床工学科

たけいしけんいちろう 武石賢一郎

①大阪府 ②大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻博士課程(後期) ③博士(工学) ④大阪

大学教授 大学院工学研究科機械工学専攻(熱力学、伝熱工学、輸送現象論、航空宇宙工学)担当 ⑤教授・理工学部機械創造工学科

くろだ 黒田 裕子

①大阪府 ②大阪府立看護大学大学院看護研究科博士前期課程 ④梅花女子大学看護学部母性看護学非常勤講師 ⑤准教授・保健福祉学部看護学科

えのき 榎 勇人

①高知県 ②高知大学大学院医学系研究科修士課程(医科学専攻) ④高知大学医学部附属病院リハビリテーション部副部长 ⑤准教授・保健福祉学部理学療法学科

やなぎさわ 柳澤 幸夫

①徳島県 ②神戸学院大学大学院総合リハビリテーション学研究科博士(後期)課程 ④独立行政法人徳島県鳴門病院リハビリテーション部係長 ⑤准教授・保健福祉学部理学療法学科

の 野崎 泰博

①香川県 ②香川大学教育学部英語英文科 ④香川県立高松東高等学校校長 ⑤准教授・一般総合科目 香川キャンパス・学生部副部长

みくに 三谷 健二

①香川県 ②広島大学理学部数学科 ④香川県立三木高等学校校長 ⑤准教授・一般総合科目 香川キャンパス・教務部副部长兼教務グループ長

さ さ 佐々木和昭

①香川県 ②大阪大学理学部数学科 ④香川県立高松北高等学校校長・高松北中学校校長 ⑤准教授・一般総合科目香川キャンパス・教務部副部长兼教育・研究支援グループ長

ふじもと 藤本和賀代

①奈良県 ②奈良女子大学大学院博士前期課程衣環境学専攻 ④奈良県高等技術専門学校教員 ⑤准教授・短期大学部生活科学科

にう 仁宇 暁子

①徳島県 ②金沢美術工芸大学美術工芸学部美術学科油画専攻 ④徳島市立加茂名中学校指導教諭 ⑤講師・人間生活学部児童学科

かわくち 河口 雅子

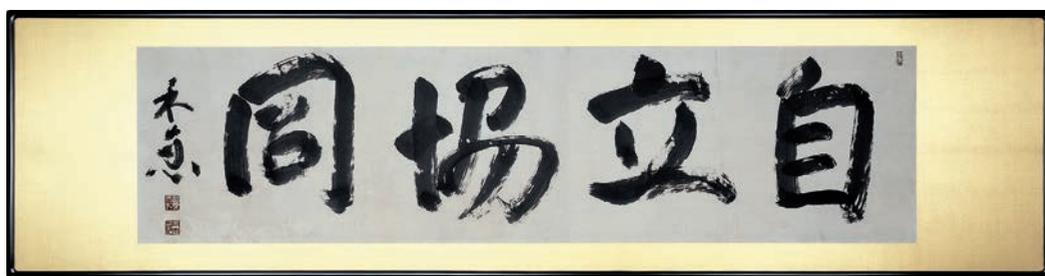
①徳島県 ②徳島大学教育学部中学校教員養成課程 ④吉野川市立鴨島第一中学校校長 ⑤講師・人間生活学部児童学科

なかほし 中橋 乙起

①高知県 ②徳島大学大学院栄養生命科学教育部人間栄養学専攻修士後期課程 ③博士(栄養学) ⑤講師・人間生活学部食物栄養学科

かねこ 金子 憲一

①神奈川県 ②日本体育大学大学院体育科学研究科体育科学専攻博士前期課程 ④日本体育大学スポーツ・トレーニングセンター助教～(株)日本エコ



建学の精神

徳島文理大学の建学の精神は「自立協同」である。自立は重要な目的であり、「他からの協力、他への協力」は、それに到達する方法である。この建学の精神は、学祖村崎サイが明治28（1895）年7月、徳島に私立裁縫専修学校を設立した歴史に由来する。学祖は、「女も独り立ちが出来ねばならぬ」との信念を持ち、「女性の自立」を唱えて村崎学園を創立した。昭和20（1945）年7月、学園は戦火に包まれて灰燼に帰し、村崎サイも学園と運命をともにした。その年の秋、戦野から帰還した村崎凡人前理事長は、学園の復興に精魂を傾け、総合学園の建設をめざした。その過程で、他からの協力、他への協力なくして、「人間の自立」はあり得ないとの考えを強く抱き、福澤諭吉の言葉「独立自力来自尊自克己生」（独立ハ協力ヨリ来リ自尊ハ克己ヨリ生ズ）を引き、協力と克己が、「独立自尊」の方法論であると説いた。福澤諭吉の高弟であり慶應義塾大学塾長を務めた林毅陸は、学祖が学んだ高松の林竹堂塾の同門であった。本学は、このような学園の歴史に基づいて「自立協同」という建学の精神のもと、人間の自立と学芸の独立を掲げ、教育を推進している。

2014(平成26)年 オープンキャンパス日程

徳島キャンパス (11:00~16:00)

9月27日☎

香川キャンパス (11:00~15:30)

9月28日☎

◆◆無料送迎バスのご予約は◆◆
お電話またはWebで

☎ 0120-602455
<http://www.bunri-u.ac.jp>

徳島キャンパス (徳島県徳島市山城町)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／人間生活学研究科(博士課程)／看護学研究科(修士課程)／総合政策学研究科(専門職学位課程)
- 専 攻 科……人間生活学専攻科(児童学専攻・人間生活学専攻)／助産学専攻科／音楽専攻科(器楽専攻・声楽専攻)
- 薬 学 部……薬学科
- 人間生活学部……食物栄養学科／児童学科／心理学科／メディアデザイン学科／建築デザイン学科／人間生活学科
- 保健福祉学部……理学療法学科／看護学科／人間福祉学科
- 総合政策学部……総合政策学科
- 音 楽 学 部……音楽学科
- 短期大学部……商科／言語コミュニケーション学科／生活科学科／保育科／音楽科

香川キャンパス (香川県さぬき市志度)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／工学研究科(博士課程)／文学研究科(博士課程)
- 香川薬学部……薬学科
- 保健福祉学部……診療放射線学科／臨床工学科
- 理 工 学 部……ナノ物質工学科／機械創造工学科／電子情報工学科
- 文 学 部……文化財学科／日本文学科／英語英米文化学科

徳島文理大学ホームページ

<http://www.bunri-u.ac.jp> (PC)



校章の由来…Acanthusとは、アカンス属の一種、アカンス・モルリスの葉で、別名ハアザミ。その刺は、事に当たって厳正、的確に処理する優れた知性を、その葉は古代ギリシャの美または芸術に通ずる豊かな情操を具象化し、本学の建学精神である「自立」を具現化した科学と芸術を示すものとして校章に制定されました。